

令和5年10月23日

授業参観 13:30～13:45

第2回 飯田小学校運営協議会

13:50～15:00(家庭科室)

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:教頭、記録:CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議 <議長: >

(1) 学校運営の課題と改善策について

(2) 特色ある学校づくり、支援策について

6 連絡

(1) 学校運営協議会の自己評価について

(2) その他

(3) 次回の予定、次回の議長の選出

7 報告

閉会 15:00

参加者名簿

< 委員 >

会長	杉山 邦司	すぎやま くにじ
副会長	露木里江子	つゆき りえこ
委員	森 峯男	もり みねお
委員	小野 逸子	おの いつこ
委員	白井 竜之	しらい たつゆき
委員	鈴木美枝子	すずき みえこ
委員	嶋口 雅啓	しまぐち まさひろ
委員	鈴木 大輔	すずき だいすけ

< オブザーバー >

東部協働センター所長	村松 拓也	むらまつ たくや
------------	-------	----------

< 学校 >

校長	生熊 周	いくま しゅう
教頭	町田 全広	まちだ まさひろ
CS担当	太田 正之	おおた まさゆき
CSディレクター	小林 知美	こばやし ともみ

< 教育委員会 >

教育総務課 指導主事	鈴木 陽子	すずき ようこ
------------	-------	---------

学校運営協議会 年間計画

	日 時	内 容	備 考
第1回	5月16日(火) 13:30~15:00	・学校運営の基本方針 ・いじめ防止対策基本方針 ・夢育やらまいか事業	
第2回	10月23日(月) 13:30~15:00	・学校運営の課題と改善策 ・特色ある学校づくり ・支援策について	
	11月10日(金)まで	学校運営協議会自己評価表提出	
第3回	2月9日(金) 13:30~15:00	・学校関係者評価 ・次年度学校運営の基本方針 ・学校運営協議会の自己評価	

令和5年度 第1回 飯田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月16日（火） 13時45分から15時00分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 家庭科室
- 3 出席委員 杉山邦司、露木里江子、森峯男、小野逸子、白井竜之、嶋口雅啓
鈴木大輔
- 4 欠席委員 鈴木美枝子
- 5 オブザーバー 村松拓也（東部協働センター所長）
- 6 学 校 生熊周（校長）、町田全広（教頭）、小林知美（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小林知美

10 議長の選出

鈴木大輔委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議無くこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）飯田小学校運営基本方針について

校長からプレゼンテーション資料に基づき、学校運営の基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ ご質問、意見等いかがでしょうか。（大輔委員）
- ・ 基本方針は、よいと思う。子供達にコミュニケーション能力はあるのか？（杉山委員）
- ・ この地域は、近くに祖父母が住んでいる子が多く、知り合いや先生に対するコミュニケーションはとれており、能力はある。もっと地域の方とのコミュニケーションもとれるようになればと思う。（校長）
- ・ 色々なクラスをもう10分ずつ参観して回り、子供達とコミュニケーションをとりたい。（杉山委員）
- ・ 道徳教育がどうなっているか教えてほしい。（白井委員）
- ・ ワークシートに自分の思いを書いたり、カードに書き道徳の木に貼っていたりして、見える化をしている。（校長）
- ・ 道徳は、普遍的なものと個性をどこまで尊重していくか、バランスの取り方が難しい。（白井委員）
- ・ 飯田小は、学校教育目標の「夢に向かって」を大切にされていて、よい。他の小学校では花壇の管理や野菜を育てる学習で、地域の人が補助している。飯田小も地域の力を借りていったらどうか。運動会の時期が変わったのは？（露木委員）
- ・ 今まで春に運動会を行い、学級・集団作りを狙っていたが、慌ただしく個々をしっかり見る時間が取りにくかった。また、気温が高く、熱中症の危険がある。そのため、秋の11月に運動会を行うことにした。今のところ、個々の子供を見て落ち着いて接することができ、どの子も歩調をそろえていけている。（校長）

- ・ 運動会の予定を見てびっくりしたけど、そういう理由だったのですね。(大輔委員)
- ・ 秋っていいですね。春は、せわしない。学年が上がってすぐ運動会は、子供が大変かな。保育園や幼稚園からきた1年生の子が学校に慣れる時間を取っていい。(小野委員)
- ・ 秋に運動会は、とてもいい。(杉山委員)
- ・ 登下校で、特に登校が気になる。子供が登校し、混む時間帯に、14、5台位、車で門の中に入り昇降口まで送ってきて、さっと下ろしていく。歩いている子達とぶつからないか心配。子供と一緒に歩いて登校する事はできないのかなと思う。体が不自由でとか理由があるのかも知れないが。(森委員)
- ・ ケガや個々の事情があり、朝、車で送ってくる場合は、8時以降でお願いしている。また、放課後は、いなほ児童会以外の放課後デイを活用している家があり、学校前の飯田街道沿いは車の往来が多く、そのお迎えの車は、駐車場の中に入れてもらっている。参観会や引き渡し等では、近くのお店に停めないように協力してもらっている。(校長)
- ・ 車で来ている児童は、結構、いるんじゃないですか。(露木委員)
- ・ 駐車場が狭いですよね。(白井委員)
- ・ 学校の南側や西側の道にも送って来ている人、いますね。(小野委員)
- ・ コロナ対応が5類になり、自分達(保護者)が参加できることは増えますか。増えてくれたらうれしい。(嶋口委員)
- ・ 参観会で、コロナ禍では各クラスの保護者の参観人数を半分に分けていたが、今年度は半分にせず参観できるようにした。今後、ご期待していただけたらと思う。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) いじめ防止等のための基本的な方針について

教頭から資料に基づき、飯田小のいじめについての実態や「飯田小いじめ防止基本方針」についての説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭から資料に基づき、今年度の夢育やらまいか事業について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、第2回会議は、令和5年10月23日(月)13時30分から家庭科室で開催する予定である旨の報告があった。

令和4年度 飯田小学校 学校評価

I 令和4年度の本校の取組み

やさしい子

自分から学ぶ子

たくましい子

誰にでも笑顔で接し、優しく思いやりのある子
 ○コミュニケーション能力の育成
 ・あいさつの充実 ・正しい言葉遣いの指導
 ○思いやりの心の育成
 ・人間関係づくりを行う場 ・いじめ早期発見
 ○規範意識の育成
 ・「1日の学校生活」の指導 ・道徳教育の充実

人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子
 ○粘り強く考え、学びを深める子供の育成に向けた授業改善
 ・単元構想の工夫・効果的な学び合いや振り返り
 ・学級集団づくり・将来や社会とつながる学び
 ○基礎基本の定着、学習習慣作りの指導
 ・「粘り強く考える子の約束」の指導

たくましい心と体を持ち、進んで頑張る子
 ○夢を追う活動の推進
 ・ドリームカード、夢を語ろう集会の充実
 ○係、委員会活動の充実
 ○競い高め合う活動の推進
 ○保健安全、食育指導の充実
 ・校内事故減少に向けて ・基本的生活習慣育成

II 自己評価

		肯定評価の割合			令和3年度			
		児童	保護者	教員	児童	保護者	教員	
やさしい子	1	あいさつの習慣が身についている。	81.6%	88.3%	75.0%	82.4%	88.3%	61.5%
	2	正しい言葉遣いで生活している。	82.1%	76.7%	78.6%	76.6%	75.7%	69.2%
	3	生命を大切にし、思いやりをもって人と接している。	94.8%	96.4%	100.0%	92.2%	96.9%	92.3%
	4	ルールやマナーを守って生活している。	92.6%	92.5%	100.0%	91.5%	92.5%	73.1%
自分から学ぶ子	1	粘り強く考えたり活動したりしている。	88.0%	74.9%	89.3%	83.4%	74.4%	84.6%
	2	人の話をよく聴いている。	92.6%	77.1%	82.1%	88.8%	77.0%	80.8%
	3	授業で自分の意見や考えを話している。	73.3%	83.2%	71.4%	64.1%	84.5%	69.2%
	4	授業を通して「わかった」「できた」「成長した」と感じている。	89.5%	86.8%	96.4%	84.9%	88.3%	88.5%
	5	家庭学習の習慣が身についている。	78.0%	76.7%	100.0%	76.0%	77.7%	88.5%
	6	学校で学んだことが、自分の将来に役に立っていると考えている。	90.5%	70.0%	78.6%	86.3%	67.3%	84.6%
たくましい子	1	夢やめあてをもち、意欲的に行事や係活動、委員会活動などに取り組んでいる。	91.6%	73.7%	96.4%	89.2%	78.6%	96.2%
	2	進んで運動に取り組んでいる。	84.2%	71.1%	82.1%	81.0%	75.9%	80.8%
	3	交通ルールが身に付いている。	94.8%	96.8%	89.3%	94.4%	95.4%	84.6%
	4	基本的生活習慣や衛生習慣が身についている。(早寝・早起き・朝ごはん・手洗い・うがい・排便等)	85.2%	89.3%	100.0%	85.3%	89.8%	88.5%

III 分析・考察

- ・校内で挨拶をすると返すことができる児童は増えてきたが、地域の中で自分から挨拶をする児童は依然少ない。
- ・言葉遣いが乱れ、ちょっとした言葉のすれ違いなどから、友達同士の関係を崩してしまうことがある。
- ・従来のような交流学習ができなくなっているため、自分の考えを伝え合う機会が減り、経験の少なさから自分の考えに自信を持ってない児童がいる。時代や現在の状況に合わせて、ICT機器を活用したコミュニケーション方法等も考えていく必要がある。
- ・家庭学習の効果について再検討し、その在り方や家庭との協力の方法、振り返りカードの項目について考えたい。
- ・夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さは、多くの児童に浸透している。それが普段の生活や学習に現れるような手立てが求められる。

IV 学校運営協議会における学校関係者評価

- ・挨拶は、子供達にとって安心安全だからできる。防犯の関係もあるが、必要な時に挨拶ができるよう、家庭での挨拶も増やしていきたい。また、地域の人が学校に関わり、子供たちの知っている人になれば、あいさつは自然とするようになると思う。
- ・自己評価の、「学校で学んだことが自分の将来に役に立っていると考えている」の項目で、子供の評価が高く、親の評価が低い。もっとできるだろうと考えてしまうが、子供の思いを大事にできるといいと思う。
- ・飯田小には、キャリア教育のためのいいモデルがある。この地域で活躍した人の時代背景や地域の歴史も生かしていきたい。

V 今後の改善方策

- ◇来年度は、感染症流行に注視しつつ、これまで以上に、学校行事や諸活動を、学校運営協議会委員の皆様にも案内し、参観していただく。こうすることで、地域に開かれた学校の在り方や導入方法について協議し、具現化するための足掛かりとしたい。→これを進めることで、地域をより身近に感じ、ひいては「地域においても自分から挨拶をする子」の育成を目指したい。
- ◇一人一台の端末導入が完了し、それらを安全に効率的に活用することで、学習を充実させる段階に入ってきている。来年度は、これまでのようなICT機器の一斉活用から一歩進めて、個に合った課題解決のためのツールとしての在り方、休み時間や昼休み等における安全な活用方法等についても研究していきたい。
- ◇これまで福長浅雄さんを中心に、地域学習や、なりたい自分を実現させるためのキャリア教育を推進してきた。来年度は、この福長さんに加えて、オリンピック金メダリストである杉浦重雄さんや、サッカー選手の牲川歩見さん等についても積極的に紹介することで、学習を豊かに複線化し、夢に係る学習を充実させていきたい。

2 校訓 「真誠」(素直で誠実に生き、どこまでも真実を追い求める子)

3 学校教育目標 夢に向かって 命をかがやかせる子
(なりたい自分を思い描き、今すべきことを実践する)

4 目指す子供像 (重点目標)

- やさしい子【感性】 だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子
- 自分から学ぶ子【知性】 人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子
- たくましい子【心身】 たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子

5 目指す学校像 ~人が環境をつくり、環境が人をつくる~

- どの子も安全・安心な環境で、生き生きと活動する学校
- どの子にもその子に合った学校生活環境(居場所)がある学校(個別最適化)
- 笑顔があふれる環境で、明るく挨拶を交わす学校
- 家庭・地域に開かれ、愛され、期待される学校(社会に開かれた教育課程)

生活指導の充実を目指して（9月）

あいさつの充実を目指して

（1）月の生活のめあてとして、振り返りの会で振り返る。

評価の視点

- ・高学年 「時と場に応じた気持ちのよいあいさつ」
- ・中学年 「自分から進んであいさつ」
- ・低学年 おおぞら 「元気よくあいさつ」

（2）「模範となる挨拶のポイント」（掲示資料）を必要に応じて活用する。

（3）きらきら挨拶賞を配付する。

模範となる挨拶を交わしている児童に対して配付する。

□実施期間：

9月4日（月）～9月15日（金）

□職員1人8枚配付（足りない場合は、河村へ）

模範となる挨拶をしている児童に配付

※①もらった児童は、**裏面に記名をして担任に渡すよう（担任の先生が、誰が何枚もらえたかを把握するため）に説明**する。その後、返却。

②学級内で積極的に称揚する。

③学級もしくは、学年ごとに集計をして、放送で称揚する。（生活委員）

（4）その他

※名前＋挨拶は、努力目標。

※教師が自分の学級・学年の児童を中心に名前をつけた挨拶をする。

☞児童に自己有用感を持たせられる！

※新学期はじめ・・・あいさつに重点を

先生方が積極的に「きらきら挨拶賞」を配付したり、あいさつの指導をしたりする！

☞自然と笑顔であいさつができる！！

できない理由が何かを見ることも大切。

御協力をお願いいたします。

生徒指導 河村

令和5年10月吉日

1, 2年生保護者様

浜松市立飯田小学校

PTA会長 嶋口 雅啓

校長 生熊 周

健全育成委員会

家庭教育部副部長 吉岡 香織

PTAあいさつ運動（1, 2年）のお知らせ

清秋の候、皆様には、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度もPTAあいさつ運動を学年毎に実施します。本年度は、6年生より順次行っております。

毎朝元気にあいさつのできる子供たちになるように、我々保護者もお手伝いをしていきたいと考えております。子供たちを不審者から守り、健全に育成していく為に、子供たちへのよい声掛けをお願いしたく、御多忙の折とは存じますが、ぜひ御協力くださいますよう御案内申し上げます。

また、併せて「PTAあいさつ運動報告書」を配布しました。あいさつ運動を実施した後に、お子さんと一緒に必要事項を記入して、11月8日（水）までに担任に提出してください。

記

1. 日時 : 令和5年 11月1日（水）
目安 7:15～7:45 各地区の登校時間帯に合わせて調整してください。
（雨天決行）
2. 場所 : 自宅近くの通学路 又は 飯田小学校 正門、東門、西門
3. 内容 : 通学路に立って、登校してくる子供たちに声掛けをしてください。
また、お子さんと一緒に通学路を歩いて登校していただいても構いません。
（声掛けと同時に通学路の安全を確認してください）

なお、あいさつ運動のスローガン入賞者の発表は学校だよりの『真誠』に掲載する予定です。

飯田小PTA担当 矢入 弘子
☎ (053) 461-3740

以上

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表
委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。